

# SUZUMO REPORT

第 65 期

2024年4月1日～2024年9月30日

## Index

トップメッセージ .....P.01

第 65 期上期総括と今後の展望

TOPICS .....P.05

財務ハイライト.....P.07



トップメッセージ

# 第65期上期総括と 今後の展望

代表取締役社長  
鈴木 美奈子

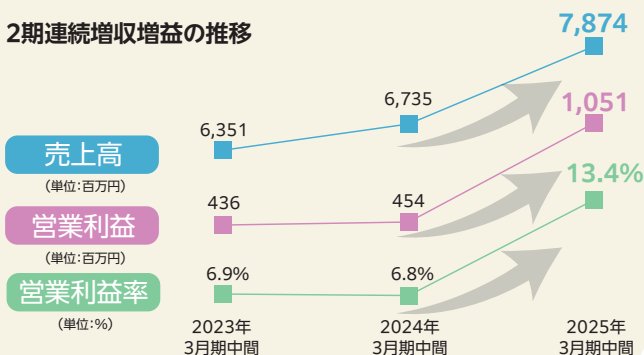


## 第65期上期振り返り

2025年3月期、第65期の上期は、増収増益の結果で終わることができました。

連結売上高は78億74百万円と前期を16.9%上回り、4期連続で増収を継続しています。利益面については、営業利益は10億51百万円と前期を131.1%上回り、親会社株主に帰属する当期純利益についても7億94百万円と前期を169.0%上回ることができ、売上高と利益面ともに、2024年5月13日に公表した当初計画を上回る結果となりました。

## 2期連続増収増益の推移



## 下期見通し

2024年9月18日に2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値を上方修正しましたが、通期計画については現時点で据え置きとしています。これは、売上高が、需要面では追い風ではあるものの、確実な見通しが立っていないことや、上期に使用予定であった販管費のうち、研究開発費、採用費、人件費などのコストが下期に繰り延べられたことによるものです。

2024年3月期決算説明会において、今期の計画達成に向けた以下3つのポイント(①価格改定、②海外売上の拡大、③国内におけるFuwaricaの拡大)をお伝えしましたが、こちらに沿って計画の進捗状況を説明させていただきます。

### ①価格改定

2024年4月より、国内・海外ともに製品価格を7～10%、サービスパーツを7～20%アップさせていただいております。こちらについてはお客様のご理解もあり、概ね当初計画通りに進捗しています。

### ②海外売上の拡大

上期については、アジアは横ばい、欧米は前期比で増収という結果になりました。欧州ではウクライナ情勢によるエネル

ギー価格高騰や供給懸念に伴う事業者への影響は継続しているものの、一昨年に渡航制限が解除されてから地道に継続してきた現地事業者への需要の掘り起こしや販売店支援活動の効果が売上高の回復に寄与しており、今後も継続的な効果が見られるものと考えています。また、北米は引き続き日系の事業者の進出加速と日本食の普及が継続しており、寿司レストランはもちろんのこと、昨今ではおにぎりブームによるおにぎりチェーン店も増加しています。こうした日本食レストランの増加や高品質の日本食の需要、賃金高騰に伴う機械化の動きも相まって、今後も更なる成長が期待できる市場であると考えております。

### ③国内におけるご飯盛付けロボット(Fuwarica)の拡大

2024年3月期は特にご飯盛付けロボット(Fuwarica)が大きく躍進した年でもありましたが、今期上期についてもその動きは継続しており、前期比で34.8%の増加をしております。外食業態における裾野の拡大はもちろんのことですが、スーパーマーケット向けにも販売が伸長しています。こちらは差別化戦略として店内調理のおにぎりを提供する事業者が増えてきており、それに伴い当社のご飯盛付けロボット(Fuwarica)とおむすびオプションの引き合いが増加しています。こうした多様なニーズを背景に今後もさらなる拡大をしていくものと考えております。

## 新工場建設の状況

今年の9月18日に発表いたしました通り、鶴ヶ島の新工場の建設が11月より開始されます。建設費の総額は約27億円となり、当社にとっては非常に大きな投資となります。新工場の操業開始は2026年3月を予定しており、生産キャパシティの拡大効果(現状の約2倍以上)は2027年3月期から寄与してくるものと想定しています。新工場においては、当社の売上の7割以上を占める主力機の生産を対象としており、生産方式についても現状のセル生産方式から、工程を分割したライン生産方式へと変更する計画です。生産キャパシティの拡大だけでなく、生産性の向上に伴う原価低減にも取り組んでまいりたいと考えております。



上) 新工場完成イメージ図



左) 2024年10月29日  
地鎮祭の様子

# SUZUMOフェア2024東京

2024年10月に「SUZUMOフェア」を東京で開催しました。今回は、グループの強みや変化をお客様へ訴求した様子をお届けします。

## ～新製品/新規事業～

自動配席AI システム ARESEA(アレシア)を展示会と同時に発売開始。SUZUMOでは飲食店全体のソリューションに取



り組んでおり、本製品はホール向けの新製品として初めてリリース。「AI」によって、受付対応の自動化と最適な配席案内をするシステムで、来店した顧客の数にあわせ、まるでベテランスタッフのように臨機応変な対応でテーブルへ案内することが可能となり、店舗の機会損失の低減やオペレーションの改善につながります。今回は、ARESEAを体験できるリアル店舗をイメージした展示で、新しい取り組みを感じていただきました。



ご飯盛付けロボット(Fuwarica)が連携した「おむすび製造自動化システム(仮称)」を開発し、試作機を展

示。おにぎりは近年、世界中で人気広がっており、「おいしいおにぎりを世界中の人々へ届けたい!」という思いが象印マホービン社と重なり、共同で開発を行いました。本製品は、具材乗せとおにぎりの包装は人が行い、注文から海苔付けまでの工程を自動化し、ふっくらしたおにぎりの提供が可能となり、注文後に生産するためフードロスの削減にもつながります。また、2025年の大阪・関西万博には、象印マホービン社が展開するおにぎり専門店への導入が決定しており、来場者からの注目を集めました。

## ～ソリューション提案/海外進出支援～



業態毎のお客様に対して、「売り場提案」や「メニュー提案」などを行い、一例として、寿司業態のお客様向けに「Choice寿司」を提案しました。この商品は、食品包装のトップシール機械を扱うテクノリサーチ社と協働し、1種類の寿司2カ

ンを個包装し、消費者が食べたいネタを必要な分だけ選んで購入できることから、売上アップやフードロス削減が期待できます。このような店舗の課題解決に向けたソリューション提案は、来場されたお客様からも高評価をいただきました。

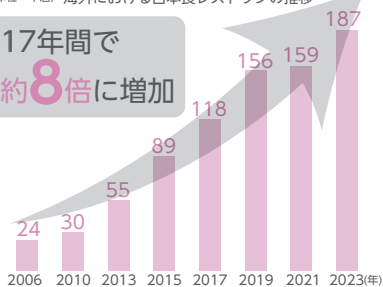
海外では日本食の広がりと共に日本食レストランの数も年々増加しており、日系企業の海外進出も加速しています。従来から進出の多いアジアだけでなく、欧米への進出も拡大している中、当社は世界90か国以上への販売実績をもとにしたグローバルネットワーク

の活用による進出支援に取り組んでおります。今回は、海外ビジネスの情報提供などを通じて、既に進出しているお客様のほか、特に検討段階のお客様との関係構築を図りました。

(単位：千店) 海外における日本食レストランの推移

17年間で

約8倍に増加



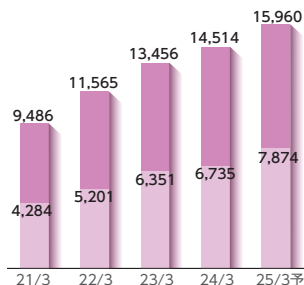
(出所)農林水産省の海外における日本食レストラン数の調査結果より作成

SUZUMOグループは、既存の米飯加工機械の領域だけでなく、飲食店全体のソリューションの実現に向けて取り組んでおり、お客様からの注目度も年々高まっております。また、相談内容も機械だけでなく、店舗の課題解決に関する内容へ変化してきており、引き続き新しい価値創造に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

■ 期末  
■ 中間

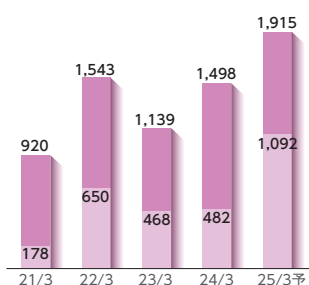
## 売上高 (単位: 百万円)

**7,874** 百万円  
前期比 16.9%増

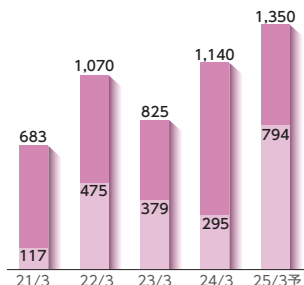


## 経常利益 (単位: 百万円)

**1,092** 百万円  
前期比 126.2%増

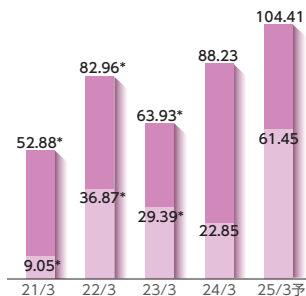
親会社株主に帰属する  
当期純利益 (単位: 百万円)

**794** 百万円  
前期比 169.0%増



## 一株あたりの当期純利益 (単位: 円)

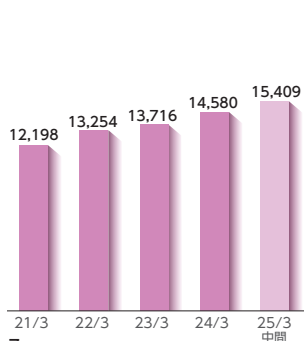
**61.45** 円



\*当社は、2022年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮し、遡及して調整しております。

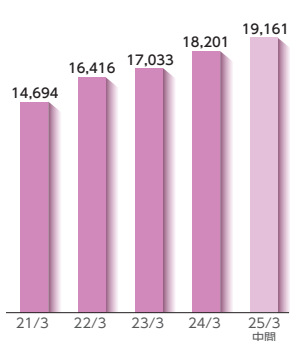
## 純資産 (単位: 百万円)

**15,409** 百万円



## 総資産 (単位: 百万円)

**19,161** 百万円





## 連結財務諸表（要約）

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期第二四半期
	2024.3.31現在	2024.9.30現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	10,692	11,643
現金及び預金	6,017	6,761
受取手形及び売掛金	1,542	1,545
電子記録債権	311	422
たな卸資産	2,562	2,587
その他	258	325
固定資産	7,509	7,517
資産合計	18,201	19,161
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,006	2,100
固定負債	1,614	1,651
負債合計	3,620	3,751
<b>純資産の部</b>		
株主資本	14,356	14,949
その他の包括利益累計額	189	420
非支配株主持分	34	39
純資産合計	14,580	15,409
負債純資産合計	18,201	19,161

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期第二四半期	当期第二四半期
	2023.4.1～2023.9.30	2024.4.1～2024.9.30
売上高	6,735	7,874
営業利益	454	1,051
経常利益	482	1,092
親会社株主に帰属する当期純利益	295	794

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期第二四半期	当期第二四半期
	2023.4.1～2023.9.30	2024.4.1～2024.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	715	954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△769	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274	△270
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	159
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△259	744
現金及び現金同等物の期首残高	4,865	6,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,605	6,761

## 会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	鈴茂器工株式会社 (英文名：Suzumo Machinery Co., Ltd.)
設立	1961年1月13日
本社	東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト6階 (〒164-0001) TEL.03-3993-1371(代)
資本金	11億54,418千円
事業内容	寿司ロボット、盛付けロボット等の米飯加工機械の製造・販売など
従業員数	490名 (2024年9月末現在)
URL	<a href="https://www.suzumo.co.jp/">https://www.suzumo.co.jp/</a>

## 取締役および監査役 (2024年9月30日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職の状況
代表取締役 社長執行役員	鈴木 美奈子	
代表取締役 副社長執行役員	谷 口 徹	
取締役 常務執行役員	越 野 純 子	株式会社理経 社外取締役／関東電化工業株式会社 社外取締役
社外取締役	高 橋 正 己	株式会社ロイヤルメディカルクラブ 代表取締役社長
社外取締役	高 橋 昭 夫	バイオマス・フューエル株式会社 社外取締役
社外取締役	橋 本 泰	合同会社ブリッジパートナーズ 代表社員
常勤監査役	河 野 淳	
社外監査役	村 井 淳 也	村井法律会計事務所 弁護士、公認会計士
社外監査役	中 島 敬 方	学校法人ミスパリア学園ビューティ&ウェルネス専門職大学教授

### ●お知らせ

#### 1. 各種お手続きに関するご注意

(1)株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

(2)配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは「配当金振込指定書」を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。振込指定のお手続きにつきましては、詳しくは各口座管理機関にお問合せください。

## 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式総数	12,960,000株
株主数	6,221人
1単元の株式数	100株

**大株主**

株主名	持株数	持株比率
GULF JAPAN 1	1,797,000	13.89%
鈴木 美奈子	1,626,000	12.57%
鈴木 映子	1,626,000	12.57%
合同会社アン・コーポレーション	1,237,480	9.56%
鈴茂器工取引先持株会	635,980	4.91%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	309,600	2.39%
立花証券株式会社	268,500	2.07%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	266,300	2.06%
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	203,900	1.58%
岩本 庄司	200,000	1.55%

(注1)持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

(注2)持株比率は、自己株式(19,598株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
	定時株主総会	3月31日
定時株主総会	毎年6月	
株主名簿管理人特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社	証券代行部
	東京都府中市日鋼町1-1	
	TEL 0120-232-711	
	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場市場	東京証券取引所(スタンダード市場)	
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.suzumo.co.jp/ir/">https://www.suzumo.co.jp/ir/</a> ) (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)	

(3)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎ致します。

(4)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払い致します。

### 2. 中間配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「中間配当金領収書」により配当金をお受取りになれる株主様宛にも「中間配当金計算書」を同封致しております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認の資料としてご利用いただけます。

# アンケートのご報告

前回発行のSUZUMO REPORT(第64期期末)でご協力をお願いをしました結果、

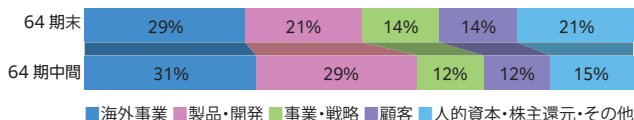
多くの株主の皆様にご回答をいただきました。誠にありがとうございました。

皆様の声を今後の経営に役立てるべく活用させていただきます。

以下にご回答の内容を一部抜粋にてご報告申し上げます。

## ～株主さま向けアンケートをもとにしたIR活動～

前回のアンケートにて特集希望の多かった海外事業、製品開発、事業戦略について、SUZUMOフェア2024東京の特集を通じて網羅的に掲載いたしました。前回のよう海外事業にフォーカスした特集記事は次回以降のレポートで取り上げる予定です。



## ご意見・ご要望（一部抜粋）

- 海外事業の活動内容を特集してほしい。
- 今後の事業展開と製品開発について特集してほしい。
- 新規事業の展開について知りたい。
- 外食産業はこれからも発展し、おにぎりも世界中で評価を高めると思います。

省力化に寄与する製品開発をお願いします。



鈴茂器工株式会社

東京都中野区中野4-10-1中野セントラルパークイースト6階（〒164-0001）

TEL：03-3993-1371(代)

URL：<https://www.suzumo.co.jp/>